

日本農芸化学会2019年度大会 NBRPパネル展示

日時：2019年3月24日（日）-27日（水）

会場：バイオリソースアピールエリア：桜丘アリーナ

参加リソース・課題：9課題

ラット、トマト、ミヤコグサ・ダイズ、酵母、ゾウリムシ、細胞性粘菌、一般微生物、シロイヌナズナ等実験植物/植物培養細胞・遺伝子、リソース寄託・提供相談窓口（NBRP広報室）

〇狙い

本学会でのブース出展は2017年度に続き、過去4年連続出展。微生物、植物を中心とした、食品産業への応用研究及びそれに繋がる基礎研究分野での唯一の大規模学会であるため、広報上重要と考え、参加した。

〇結果

- ・大会参加数：4,606名
- ・ブース来訪者数：約320名/9ブース・4日間
- ・ポスター会場と別の建物であったが、比較的多くの学会参加者がブース展示会場に来場している印象がある。NBRPは8ブース並んでいるので、どこかのリソースで引き入れられれば、NBRP全体をしることになるので、その点では複数での多ブース展示にも、相乗効果はあると感じる。
- ・研究者、企業関係者、学生がほぼ同程度訪問。多くの方が足を止めてくれた。NBRPの活動内容を説明し、是非機会があれば利用したい、という回答がほとんどだった。NBRP自体を知らない方が訪問者の半数ほど、学生だけでなく、年配の研究者も知らない方が多かった。また半数ほどNBRPという名前は聞いたことがあるが、中身は知らない、という方だった。過去に連続4回も参加しているのに、NBRPの活動内容の認知がまだまだだと感じた。企業の方は、産業開発で使用した場合の権利についての質問が多かった。我々関係者はNBRPとってしまうが、ブースの展示看板などを正式名である「ナショナルバイオリソースプロジェクト」に戻したほうが、訪問者は活動を理解しやすいし、訪問者の興味を引くと考え、次回からはそのように対応することとする。

